

【Dr. Masaya 樋口の緩和医療 : PalCare】

もっと広く・深く、緩和ケアを身近に。

ブログ PalCare では、米国緩和医療フェローシップの日々を綴っています。

緩和医療の3つの軸である 症状緩和、コミュニケーション、医療制度・システム的アプローチを
多職種チームでの診療から学んでいます。

投稿も 200 回を超え、学びのコンテンツとして医学生・研修医、また高齢診療・総合診療にと
どまらず、

様々な診療科、職種の方からアクセスやコメントを頂いています。

以下は 12 月の人気記事リストの紹介です。ぜひお時間ある時に御覧ください。

今後共 PalCare をどうぞ宜しくお願いします。

樋口雅也

コロンビア大学 緩和医療科

症状緩和など：

What is the clinical course of advanced cancer? 進行がんのある患者のトラジェクトリーを 4 つに分類する。すると見えてくるもの。

<http://palcare.blog.jp/archives/5943618.html>

コミュニケーション：

アドバンス・ケア・プランニングのきっかけに。

ついに日本語版がリリースされました。アドバンスケアプランニングを支える The Conversation Project Starter Kit in Japanese

<http://palcare.blog.jp/archives/4704828.html>

診療コミュニケーションのスキルアップ

Mastering communication with seriously ill patients 2-3 コミュニケーション・スキルアップ 2-3 情報の一方通行というピットフォール

<http://palcare.blog.jp/archives/5832460.html>

多職種からの学び：

Workshop - Developing Spiritual Mission Statement by a palliative care chaplain スピリチュアルミッションステートメント ワークショップ by チャプレン

<http://palcare.blog.jp/archives/5768652.html>

システム的アプローチ、パブリックヘルスと緩和医療、医療政策など：

"Improving Palliative Care with Deep Learning" 深層学習による全死亡率予測→緩和ケア向上に繋げる取り組み。スタンフォード大学

<http://palcare.blog.jp/archives/5889739.html>

Dartmouth Atlas Project アトラスで読み解く、終末医療の地域間格差

<http://palcare.blog.jp/archives/5593665.html>

参考図書紹介：

Evidence-Based Practice of Palliative Medicine エビデンスに基づいた実践緩和医療本

<http://palcare.blog.jp/archives/5815292.html>

Demystifying opioid conversion calculations まるごと一冊、オピオイドローテーション・換算

<http://palcare.blog.jp/archives/5706784.html>

医学教育、フェローシップの仕組み：

Faculty Evaluation (研修医による)指導医の評価

<http://palcare.blog.jp/archives/5847814.html>

Masaya Higuchi,MD,MPH,CMD,FAAFP,AGSF
Clinical Fellow, Hospice and Palliative Medicine

Department of Medicine
Columbia University Medical Center
Division of Geriatrics and Palliative Medicine
Weill Cornell Medical Center